

わたしのいもうと

三次市立十日市小学校
第1学年 大畠 埜乃

わたしのいもうと

—ねん おおはたのの

わたしは、おねえさんになりました。かあ
あがけうしようした、きよねんの九がつ十か
にいもうとのあずがうまれました。

わたしが、ほいくえんのきいぐみさんのと
きに、ままが、

「あかちかんがうまれるよ。」

とおしえてくれたから、びっくりにしました。
きょうだいがでるとおもって、あくわくし

ました。

あずがうまれて、ははとびよういんにいき

ました。びよういんにいったとき、あずは、

とてもあしかとつてもちいさくてかわいかった

です。ないたら、かあがあかくなつて、おさ

るさんみたいでした。だいまさなおばあちや

んがいなくなつてかなしかうたから、あずが

うまれてくれて、うれしかうたです。にこに

こにないました。

ままがにりゆういんしているあいだ、ははと

ふたりでおるすばんをしました。はやくままとすすがかえってきてほしいとおもいました。かえってくるのがとてもたのしみでした。だっことをしたりみるくのませたりしたかったからです。それに、さみしかったからです。かつとかえってきたとき、かつたあとこのろのながでさけびました。ぐびぐびといっねているすずをみていて、これからずつといっしまにいられるとおもってうれしくなりました。

すずは、とてもくいしんぼうです。うまいたばかりのとき、めをすっかりあけて、ママのおちちやみるくもごくごくのんでいました。のみすずて、はくこともありました。おなかいっぱいになったら、よくねむりました。あたしもすずにみるくをあげたことかあります。ねかせて、ほにゅうびんをくちにいいねてあげました。よくのんでくれました。ままになっただみたいでうれしかったです。いまは、じぶんでほにゅうびんももってのんでいます。

ご主人もよくたべます。いじょうじよくの
 ふくろにはいつているおがずちごはんにかけ
 て、おむらいますみだいにしてたべます。はな
 ないようぐるとなかけたおやつもよくたべま
 す。あさ、すがないていると、ままはばな
 なようぐるとをつくりまます。すがは、ばなな
 をみると、なきやんでせつてきてすわってま
 ちます。あたしもとぎとぎいっしよにばなな
 をたべます。すがは、やつはいくいしんぼう
 だなあとおもいます。すががよくたべるので



あたしよりおおきくならなにかしんほいで
 もう、あたしのおなごぐらいあります。あた
 しまりおおきくなつてほしくないます。だ
 て、あたしがおねえうんだがらです。
 すががあるくようになつて、こまっこい
 ことがあります。わたしがかっこうからかえ
 っつて、つくえいすわってしつくだいをしそい
 たら、ときどきすがきて、つくえいおいて
 いるしつくだいふりんとをひつばつてま
 だから、わたしはすずのゆびをかみからはす

して、とどかないところにおきます。そした
ら、すずは、
「うええん。
とどけふよ、ういながら、ままのところい
います。ちよ、とかわいそうだけと、やっ
とあ、ちこい、た。し、くだいができるぞ。
とおもいます。

でも、わたしは、すずがだいすきです。わ
たしのごとをえかおでおいかけられます。
が、ごうからかえ、たと、わたしのことだ



いま、というごえを、いた、げんかんまで
あるいてむかえいきてくれます。うれしくて
だ、ごすると、もありませう。「さ、あ」とあ
らいながら、いうところがかわいいです。くつ
をはいてあるいて、いろいろなところ
です。べ、て、おしいちんとして、けるここ
ろがかわいいです。そのと、は、だ、ました
りてをも、て、た、た、せ、た、り、し、ま、す。

すずが、ままに、だ、ご、して、も、ら、う、と、さ、わ
たしは、あ、ま、え、ら、れ、な、い、の、で、さ、び、しい、で、す。

〈指導者の言葉〉

この作品は、1学期の終わりに、国語科の「こんなことしたよ」の学習で、絵日記の学習をした後に、これまでの国語科で学習したことを生かして、自分の体験を書いた時の作文です。

この学習では、書きたい題材を選ぶ、見たことやしたことをよく思い出して書く、思ったことや感じたことを書くということに留意して指導しました。

特に、自分がしたことや見たこと等の出来事とその時の自分の思いをつなぎ合わせて書くように取り組みました。

本児童は、妹が生まれると分かった時の驚きや生まれるまでの気持ち、生まれてからの妹の様子や自分との関わり、そして、姉として願うこと等を振り返ってよく思い出し、出来事やその時の気持ちを重ね合わせて、素直に丁寧に表現しています。大好きな妹への愛情が伝わる作品になりました。